

令和3年度 ACTR

分類 番号	A10	取組 名称	京都在来ブドウ品種‘聚楽’の復活栽培に向けた技術開発と新たな利用方法の開発
研究代表者所属・職名：		生命環境科学研究科・教授	氏名： 板井 章浩
研究担当者： 京都府立大学（板井章浩、森本拓也） 外部分担者・京都府農林水産技術センター農林センター丹後農業研究所（久木崎孝弘氏、荻野一郎氏）、大和葡萄酒株式会社（荻原保樹氏、早川雄一郎氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府農林水産技術センター・農林センター・丹後農業研究所			
【研究活動の要約】			
<p>高台寺近くの民家の庭先で100年生に近いブドウ樹が発見され、このブドウは、京都において安土桃山時代から栽培の記録があり、昭和になって絶滅した‘聚楽’ブドウまたはその子孫である可能性がある。</p> <p>新たに植栽した聚楽苗から収穫果実を得て、果実形質調査および成分調査を行った。また、原木にウイルス感染が判明したことから、これまでに確立した組織培養条件にて、ウイルスフリー化に取り組んだ。</p>			
【研究活動の成果】			
<ul style="list-style-type: none"> 今年度、大和葡萄酒株式会社の協力を得て、収穫果実を得て、果実調査を行った。果実サイズは、デラウェアと同程度で2g程度、糖度は平均18.2度と高く（甲州は15.4度）、生食も可能で、またワインや果汁製造にも適していることを明らかにした。 培養の条件検討を行い、ウイルスフリー化を行ったが、すべてのウイルスを完全に除去できず、さらなるウイルスフリー化条件の検討を進めている。 			
【研究成果の還元】			
<ol style="list-style-type: none"> R3.10.15 NHK 京都番組 京いちにちで放映 R4.3.8 京都府立大学生命環境学部附属農場 市民約20名 精華キャンパス ACTR 成果発表会 			
【お問い合わせ先】			
生命環境科学研究科 資源植物学研究室 教授 板井 章浩 Tel: 0774-93-3253 E-mail: itai@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

今年度、収穫果実の調査を行い果実形質調査および成分調査を行った

収穫果実の様子



果実サイズは、デラウエアと同程度(2g)であった、デラウエアより縦長の果実形態を示した

果実形質 調査結果

品種	粒重	縦径	横径	糖度 (Brix)	pH
聚楽	1.88 b ²	17.0 b	12.2 b	18.4 a	3.53 a
甲州	4.72 a	19.6 a	17.7 a	15.4 b	3.46 b

²異なる文字間に有意差あり

糖度は平均 18.2 度と甲州よりも高く、酸含量も充分であり、生食も可能で、またワインや果汁製造にも適していると思われた